

GPA 算出方法

GPA (Grade Point Average) とは、学生が履修した全科目の成績評価の平均を数値で表したもので、入学時から通算の累積 GPA が算出されます。

- ・対象学生

2018 年度以降の入学者になります。(介護福祉学科と国際ビジネス学科)

- ・対象科目

卒業までの履修対象科目として登録した科目が対象になります。

- ・GPA の通知

GPA は、成績表に記載されます。

- ・計算方法

各科目の成績評価に対して、「Grade Point」と呼ばれる換算値を設定します。それぞれの「各科目の単位数」と「履修した各科目の Grade Point」の積の総和を「総履修登録単位数」で割って、スコア化したものが GPA (Grade Point Average) です。「総履修登録単位数」は、不合格科目の単位も含まれます。本学が導入する GPA の計算方法は下記に示すとおりです。

①換算値の設定

科目の成績評価に応じて、4 段階 (3、2、1、0) の換算値 (Grade Point) を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目は Grade Point が 0 点となります。本学が設定する換算値は、表 1 に示すとおりです。

表 1.換算表

合否区分	評価	評点	Grade Point
合格	A	100 点～80 点	3
	B	79 点～70 点	2
	C	69 点～60 点	1
不合格	D (不可)	59 点以下	0

②計算式

$$\frac{(3.0 \times A \text{ 修得単位数}) + (2.0 \times B \text{ 修得単位数}) + (1.0 \times C \text{ 修得単位数})}{\text{総履修登録単位数 (D (不可) の単位数を含む)}}$$

(注1) GPAの計算は、小数点第3以下を四捨五入するものとします。

(注2)「総履修登録単位数」は、不合格科目を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果、再び不合格の評価であった場合、再履修前の不合格については、通算のGPAに含みません。

参考：ある学生のGPA算出例

履修科目名	単位	評価	Grade Point	Grade Point× 単位数
人間の尊厳と自立	2	B	2	4
コミュニケーション技術	2	B	2	4
社会と制度の理解 A	2	A	3	6
介護の基本 A	2	A	3	6
介護過程 (応用)	2	C	1	2
発達と老化の理解 A	2	B	2	4
発達と老化の理解 B	2	B	2	4
認知症の理解 A	2	A	3	6
こころとからだのしくみ A	4	A	3	12
医療的ケア	6	A	3	18
合計	26			66

GPA=2.54 (66÷26=2.538・・・小数点第3位を四捨五入する)

卒業の認定に関する方針

1. 卒業の認定については、学則第 1 章第 1 条に規定されている知識・技術を身に付け、かつ、学則別表 5 に規定されている各学科における卒業所要単位数を修得した者とする。
2. 卒業の判定については、卒業年度の 1 月から 2 月にかけて、卒業判定会議を学内で実施し、出席状況及び単位取得状況の客観的資料に基づき、認定を行うこととしている。

下記は、学則第 1 章第 1 条より抜粋

第1条 本校は学校教育法に基づき、文化・教養専門課程では国際化時代に通用する語学力と実務知識、幅広い教養を身につけた人材を育てること、商業実務専門課程では、専門的なビジネススキルの習得を通じ、社会人としての総合的な能力と実務知識、幅広い教養を身につけた人材を育てること、教育・社会福祉専門課程では、福祉保育と介護福祉の学問を通じて、実務知識と幅広い教養を身につけた人材を育てることを目的とする。

下記は、学則別表 5 より抜粋

介護福祉学科 介護福祉士コース

科目区分/領域	最低修得単位数	備 考
必修科目	13	但し、介護福祉士国家試験資格を満たす最低修得単位数は、98 単位が必要となる。
選択必修科目 1	51	
選択必修科目 2	19	
合 計	83	

国際ビジネス学科

科目区分	最低修得単位数	備 考
必修科目	80	
選択必修科目	12	
合 計	92	

学校法人アリス国際学園理事名簿

理事長 竹澤 敦子

理事 竹澤 勝志

〃 乙村 薫

〃 中山 雅人

〃 紐野 義昭

〃 雄谷 良成

〃 米沢 卓也